

| | | | | | | |
|------|------------------------|---------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 11 06 01 | 事業改善シート（令和6年度実施事業分） | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 土砂災害等から生命・財産を守るための対策事業 | 部局 | 建設部 | 課・室 | 砂防課 | |
| | | 実施期間 | M31 ~ | E-mail | sabo @ pref.nagano.lg.jp | |

1 現状と課題

近年、自然災害が激甚化・頻発化し、急峻な地形と脆弱な地質を有する本県においては、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨、令和3年8月大雨による災害等、毎年のように甚大な被害が発生している。
誰もが安全で安心して日常生活を送るため、「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策を進める必要がある。

2 事業目的

社会生活や経済活動を支える基礎的なインフラ（官公署、医療施設、学校、道路、鉄道等）を保全する施設を集中的に整備する「ハード対策」、平時から住民の防災意識を高め、避難の実効性向上に資する「ソフト対策」をあらゆる手段で強力に進めていく。

3 事業目的を達成するための取組

- ①「ハードとソフトが一体となった総合的な減災対策」の強化・推進
- 再度災害を防止するため、近年発生した災害箇所・崩落等の兆候がある箇所の早期対策を実施
 - 人命に直結する要配慮者利用施設や避難所における被害を防止・最小化するため、砂防施設を整備
 - 実践的な避難行動につなげるため、小学校の防災教育や各地で実施される防災訓練等へ土砂災害に関する豊富な知識を持つ講師を派遣し、訓練計画の作成や訓練への助言等の支援を実施。
- ②維持管理の推進
- これまでに整備した砂防施設の機能低下を防ぐため、修繕等の老朽化対策を実施



4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

| No. | 指標名 | 単位 | R4年度 | | R5年度 | | R6年度 | | R6年度 目標値 | 達成 状況 | 目標値設定理由 |
|-----|---------------------|----|--------|--------|------|--------|------|--------|-------------|--|---------|
| | | | 実績 | 実績 | 推移 | 実績 | 推移 | | | | |
| ① | 土砂災害から保全される人家戸数 | 戸 | 55,500 | 55,962 | ↗ | 56,600 | ↗ | 56,600 | 達成 | 第3期長野県強靱化計画において、R9までに58,000戸を保全することが目標であるため、R6は700戸の保全を目標とする。 | |
| ② | 老朽化対策が必要な砂防施設の修繕・改築 | 施設 | 128 | 140 | ↗ | 164 | ↗ | 145 | 達成 | 第3期長野県強靱化計画において、R9までに健全度A（要対策）と評価した砂防施設の老朽化対策を193施設完了することが目標であるため、R6は8施設の対策完了を目標とする。 | |

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

| No. | 施策分野（施策の総合的展開名） | 達成目標 (☆印が付いているものは主要目標) | 単位 | 直近3か年の状況 | | | | | | 目標 | |
|------|-----------------|------------------------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|----|
| | | | | 年/年度 | 数値 | 年/年度 | 数値 | 年/年度 | 数値 | 年/年度 | 数値 |
| 1-2① | 災害に強い県づくりの推進 | 土砂災害特別警戒区域内に立地する要配慮者利用施設の保全数 | 施設 | 2022 (R4) | 55 | 2023 (R5) | 57 | 2024 (R6) | 58 | 2027 (R9) | 71 |
| 1-2① | 災害に強い県づくりの推進 | 土砂災害特別警戒区域内に立地する要配慮者利用施設の保全率 | % | 2022 (R4) | 56 | 2023 (R5) | 58 | 2024 (R6) | 59 | 2027 (R9) | 72 |

6 事業コスト

(単位：千円、人)

| 区分 | 予算額 | | | | | 決算額 | 職員数 |
|------|------------|------------|------------|--------------|-----------|------------|-------|
| | 前年度繰越 | 当初予算 | 補正予算等 | 合計 (予算現額) | うち一般財源 | | |
| R6年度 | 15,311,808 | 11,374,736 | 11,958,966 | 38,645,510 | 1,996,860 | 22,630,114 | 111.1 |
| R5年度 | 14,372,594 | 11,218,656 | 12,623,190 | 38,214,440 | 1,973,908 | 22,886,783 | 109.6 |
| R4年度 | 17,387,112 | 11,372,440 | 11,598,494 | 40,358,046 | 2,248,947 | 25,457,837 | 108.6 |

| | | | | | | |
|------|------------------------|---------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 11 06 01 | 事業改善シート（令和6年度実施事業分） | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 土砂災害等から生命・財産を守るための対策事業 | 部局 | 建設部 | 課・室 | 砂防課 | |

7 主な取組実績と成果

①「ハードとソフトが一体となった総合的な減災対策」の強化・推進

- ・再度災害を防止するため、近年発生した災害箇所・崩落等の兆候がある箇所の早期対策を実施。また、人命に直結する要配慮者利用施設や避難所における被害を防止・最小化するため、砂防施設を整備し、令和6年度までに56,600戸の保全が完了した。
- ・令和9年度までに58,000戸の保全完了に向け、事業を推進していく。
- ・ソフト対策では、住民の防災意識向上のための取組みとして、砂防ボランティアによる地域での防災教育を50回実施（前年度の実施回数：52回）した。加えて、実践的な避難行動につなげる防災教育として、市町村等の避難訓練等へ砂防ボランティアを派遣し、訓練計画の作成や訓練への助言等の支援を19回実施した。

②維持管理の推進

- ・これまでに整備した砂防施設の機能低下を防ぐため、修繕等の老朽化対策を実施し、令和6年度には164施設の対策が完了した。
- ・令和9年度までに193施設の対策完了に向け、事業を推進していく。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

| 指標 | ① 土砂災害から保全される人家戸数 | R5年度推移 | ↗ | R6年度推移 | ↗ | 達成状況 | 達成 |
|--|-----------------------|--------|---|--------|---|------|----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・第3期長野県強靱化計画（R5～R9）において、R9までに58,000戸を保全することを目標としており、R6は目標としていた56,600戸の保全が完了した。 ・5か年加速化事業費（R2～R6）を活用した積極的な予算付けにより事業の進捗が図られ、目標値を達成した。 | | | | | | | |
| 指標 | ② 老朽化対策が必要な砂防施設の修繕・改築 | R5年度推移 | ↗ | R6年度推移 | ↗ | 達成状況 | 達成 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・長野県砂防中期計画（R5～R9）において、R9までに健全度A（要対策）と評価した砂防施設の老朽化対策を193施設完了することを目標としており、R6には目標としていた145施設に対し、164施設の対策が完了した。 ・5か年加速化事業費（R2～R6）を活用した積極的な予算付けにより事業の進捗が図られ、目標値を達成した。 | | | | | | | |

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・砂防施設等によるハード対策は、着実に進んでいるものの、未だに人家、道路、要配慮者利用施設等の保全対象を有する整備必要箇所が多く存在し、対策には多大な事業費の確保が課題である。
- ・老朽化対策については、着実に進んでいるものの未だ多くの要対策箇所が存在する。
- ・防災意識向上のための取組みについて、砂防ボランティアによる地域での防災教育の申込みは一定数あり、事業の浸透を図れているものの、実践的な避難行動につなげる防災教育については、事業を活用してもらいたい要配慮者利用施設等に十分に浸透しておらず、活用されていない状況である。

(2) 事業改善の方策

- ・事業費の配分は、保全対象などを考慮した優先順位により要対策箇所を選定し、効率的な予算配分による事業完了を推進する。
- ・つなげる防災教育について、県関係部局及び市町村関係部局と協働し、活用の促進を図る。

| | | | | | | | |
|------|-------------------------------|--------------------------|----|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 11 06 01 | 細事業一覧（令和6年度実施事業分） | | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 土砂災害等から生命・財産を守るための対策事業 | | 部局 | 建設部 | 課・室 | 砂防課 | |

| 細事業No. | 細事業名 | | R4年度 決算額 | R5年度 決算額 | R6年度 決算額 |
|--------|--|------|---|------------------|------------------|
| 1 | 砂防管理費、砂防等調査費、通常砂防費、火山砂防費、地すべり対策費、急傾斜地崩壊対策費他 | | 25,457,837 千円 | 22,886,783 千円 | 22,630,114 千円 |
| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） | | |
| 1 | 防災教育事業 | 直接 | 住民の防災意識向上のため地域での防災教育を実施するとともに、実践的な避難行動につなげるため、小学校の防災教育や各地で実施される防災訓練等へ土砂災害に関する豊富な知識を持つ講師を派遣し、訓練計画の作成や訓練への助言等の支援を実施。 支援回数 計69回実施 | | |
| 2 | 土砂災害基礎調査 | 直接 | 土砂災害警戒区域において、地形や土地利用状況の調査を実施。 基礎調査 計322箇所実施 | | |
| 3 | 情報基盤整備 | 直接 | 雨量観測局の改修等を実施。 雨量観測局 12局改修 | | |
| 4 | 通常砂防事業 | 直接 | 砂防堰堤工、溪流保全工等の設置及び測量、調査、設計、用地補償を実施。 整備箇所154箇所（千曲市城腰他） | | |
| 5 | 火山砂防事業 | 直接 | 砂防堰堤工、溪流保全工等の設置及び測量、調査、設計、用地補償を実施。 整備箇所23箇所（信濃町古海他） | | |
| 6 | 地すべり対策事業 | 直接 | 地すべり対策工事、調査、設計、用地補償を実施。 整備箇所46箇所（天龍村福島他） | | |
| 7 | 急傾斜地崩壊対策事業 | 直接 | 斜面对策や崩壊土砂防止施設の施工、測量、調査、設計及び用地補償を実施。 整備箇所75箇所（川上村秋山他） | | |
| 8 | 雪崩対策事業 | 直接 | 雪崩予防柵の施工、測量、設計及び用地補償を実施。 整備箇所3箇所（白馬村飯森他） | | |